



訓練用のはしごやプ

幅広く用意されており、

この日は洋

火災への対応、

高所作業の訓練など

上生存技術(シー

サバイバル)の訓練

国内初 ・ルなど

基本安全プログラムは、応急措置や







成田空港

ごを上り下りすることを想定した訓

の一角で船着場から洋上風車のは

備の点検・着用から始まり、

プ

にあたります。まず、さまざまな装

丁寧に答えながら手取り足取り指導

練へと移りました。



GWO認証の訓練

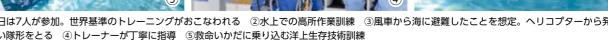
7人で、

2人のト

レーナーが質問に

がおこなわれていました。

参加者は



①この日は7人が参加。世界基準のトレーニングがおこなわれる ②水上での高所作業訓練 ③風車から海に避難したことを想定。ヘリコプターから発見さ れやすい隊形をとる ④トレーナーが丁寧に指導 ⑤救命いかだに乗り込む洋上生存技術訓練

出張日数の負担を減らしました。オ 座学をオンライン受講にすることで 国から受講生が集まります。 施設が10カ所ほどありますが、その 電に貢献したいと小松﨑さんは考え 証施設は、国内唯一です」 基本的なプログラムは座学と実技を なため、北海道から沖縄まで日本全 からも車で約50分とアクセスが便利 が同社の強みとなっています。 中でも受講しやすい施設であること すべてをワンフロアに配置し、動線 ゼロから立ち上げた施設は、 を進めることで、日本全体の風力発 ンライン受講が認められたGWO認 や備品の保管場所にまでこだわって 「GW〇認証の訓練を目的として 受講のハードルを下げて人材育成 「神栖は東京から近く、 日本には現在、 ~5日間かけておこないますが、

また、

次は、

風車から海に転落したり、

業は必ずチー

ムでおこなうため、

命

とを想定した訓練です。

洋上での作

避難のため海に飛び込んだりするこ

を守るための集団行動が重要になる

といいます。

真冬の海でも体温低下

松﨑さんに教えてもらい 命を守るための知識と技術

また、この認証は2年ごとに更

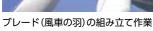
でおきたい」などと答えてくれまし の機会に普段はできない経験を積ん

新する必要がありますが、7人中2 人が前回は九州で受講したとのこと。

「海でパニックにならないよう、

もっと危険だと思うので、それをイ 意識が高まりました」「実際の海は

ージしながら取り組んでいます」



洋上での専用船による風力発電施設の施工

です。 さ200メー

日本で一番、 選ばれる施設を目指す

ています。 る作業も、 は風車が大型化していくと考えられ さ約60メー 私たちが見慣れた神栖の風車は高 発電効率を上げるため、今後 地上ならスムーズにでき 高所ではとても同じよう トルですが、 ルの風車もあるそう 海外では高

て充実している」とい う声も聞くこ

練の重要性はますます高まっていき

にはできません。そのため、

安全訓

さあいよいよ訓練施設の見学です。

ための集団行動を実践しました。

から発見されやすくする

水しぶきをあげたりして、 が一列につながったり、

上空の

と受講生が次々と深さ3メート ションスーツを着用し、トレー を防いで浮かぶことができるイマー

ルの

に飛び込みます。そして全員

輪になって

習を受けるとよいと思います」とい 生死を分けるような場面で役立つこ や子どもたちも、 とばかりなので、 る基本的な考え方は、 興味深かったのは、 沿岸に住む皆さん 一部分だけでも講 地震や津波で 「安全に対す

延びるため、知識と技術を身に付け

はできません。救助が来るまで生き 急車がすぐ近くまで駆け付けること

になった」など初めて風車に触れる た」「転職して風力発電に携わること

年齢も背景もさまざまです。

皆さんに訓練を受けた感想を伺う

いかだに乗り込む訓練 洋上では陸地と違い、

、へと

洋上風力発電のチームに配|務に携わっている人から、

-ムに配属になっ人から、「会社で

る訓練が必要となります。

ーナーの皆さんは指導で心が

と、

「自分の身は自分で守るという

開催し、 されています。さらに、 消防隊の皆さんの潜水訓練にも利用 だへの乗船体験などをしました。ま 年10月には「かしまこども大学」を する姿勢が表れています。 活用されており、地域貢献を大切に ンターンシップ受け入れなど幅広く た海の事故から私たちを守るため、 業員だけのものではありません。 まさにこの施設は、 小学5・6年生が救命い 風力発電の作 高校生のイ か 昨

日本で一番選ばれるトレーニングセ

を目指していきます」

安全への意識が高まる

受講生は、

風車のメンテナンス業

受講しやすくなった」「設備が新しく

「近くにトレーニング施設ができて

を尽くします」と力強く語ってくれ を確実に習得してもらえるよう全力 ングであっても、 処法を伝えます。

実践に役立つ知識 基本的なトレーニ 実際の事例を交えながら具体的な対 作業にはどのような危険が伴うか、 けていることについて、「洋上風力

然です。 であり、 能エネルギーのインフラを支える人 ならない仕事。私たちはこの地で、 材であり、 本を代表する洋上風力発電の集積地 を聞きました。「今や神栖市は、 面でも日本最大規模です。 け入れることが可能で、 ングセンター ウィンド・パワー 安全教育の施設もあって当 風力発電の作業員は再生可 メンテナンスはなくては 小松﨑さんに今後の抱負 は年間1000人を受 収容能力の ・トレーニ 日

風が吹き、 全国から注目される日も遠くなさそ 人材育成の先進地として 神栖にさらなる追



ングセンターです。施設の特徴を小

ました。